

会 議 録

会議の名称	令和４年度 第７回 栃木中央地域会議
開催日時	令和４年１０月２５日（火） １８時３０分開会～１９時４１分閉会
開催場所	キョクトウとちぎ蔵の街楽習館
出席者及び欠席者氏名	別記１のとおり
事務局職員職氏名	別記１のとおり
その他出席者等	別記１のとおり
会議事項	別記２のとおり
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	０人
その他必要事項	なし
会議の経過（議事の要旨）	別記３のとおり

別記 1 出席者及び事務局

○出席者

会 長	古澤 利夫	委 員	五十畑 文子
委 員	大栗 利夫	委 員	大塚 昌峰
委 員	小倉 治雄	委 員	杉戸 洋
委 員	高橋 正行	委 員	中村 絹江
委 員	野口 邦子	委 員	堀越 元樹
委 員	松本 真由美	委 員	水越 房代
委 員	村田 弘子		

以上 13 名

○欠席者

副会長	岡田 真由美	委 員	林 美佐子
委 員	下枝 順子		

○事務局

【地域振興部】

高野 義宏（地域政策課長）
鈴木 邦彦（地域政策課長補佐）
関口 智 （地域政策課主査）
関根 光里（地域政策課主任）

○その他出席者

別記2 会議事項（議題及び会議結果）

1 開 会

2 会長あいさつ

3 連絡事項

4 議 事

- ・（仮称）第2次栃木市総合計画における地域会議からいただいた意見について（報告）
- ・地域未来ビジョンについて（意見交換）

5 連絡事項

次回の開催予定について

6 閉 会

別記3 会議の経過（議事の要旨）

発言者	議題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
会長	前回7月に開催した会議から、3カ月ぶりの会議です。 先日、10月7日栃木市役所本庁舎にて、大川市長へ令和5年度実施分であります、地域予算計画書「日光例幣使街道認知度向上事業」事業費672万3千円を提出して参りました。 また、10月22日にキョクトウとちぎ蔵の街楽習館で行われた、「多世代まちづくり意見交換会」に出席して参りました。この意見交換会では、2つの議題、今後の自治会運営についてと、子育てと介護の両立について、フリートークで実施されました。多世代の方の意見が飛び交い、市当局及び参加者の皆さまにとっては、有意義な会議であったと感じました。 次第4、本日の議事ですが、第2次栃木市総合計画における地域会議からいただいた意見について、事務局から報告願います。 また、地域未来ビジョンについて事務局より説明後に、魅力と課題についての意見交換を行いたいと思います。
事務局	【資料を基に（仮称）第2次栃木市総合計画における地域会議からいただいた意見について説明】 【地域未来ビジョンについて説明】 地域予算について、2年間かけて皆様に取り組んでいただきましたが、地域の課題というのは、ある程度決まってくるものだと考えます。年度年度で切り替わるものではないと考えますので、地域予算を使うための指針となるもの、課題であったり、魅力を伸ばしていくもの、そういったことを地域未来ビジョンにまとめることで、今後地域予算を検討する際の材料になったり、実働組織で事業に取り組むにあたり、課題を解決するために実働組織で活動するということが考えられます。 また、地域再生計画、これは行政で取り組むものですが、この計画を策定することで国からの補助金や交付金を得ることができるようになります。 皆さんで検討した中央地域の将来像、未来ビジョンを実現する、その為の目標となるのが「地域未来ビジョン」です。皆様と実際に意見交換を行いながら作っていきたいというのが、今回の趣旨です。 地域会議は2年ごとの委員改選があり、地域の課題や地域の未来像を毎年検討しているというのが実情でした。それに対し、今回「地域未来ビジョン」を策定することで、今後地域会議委員が代わったとしても、参考にすることで、栃木中央地域に対し栃木中央地域会議として、どのような思いがあるのか、どういった課題があるのか、そういったことが一目瞭然で分かるものを作っていきたいと考

	えています。 今後の流れですが、本日 10 月の地域会議で「地域未来ビジョン」の説明をさせていただきます、これから皆さまにワークショップ形式で「地域の魅力や課題」について意見交換をしていただきます。 次の 1 月の地域会議で、「地域未来ビジョン」の「まちづくりのテーマ」「キャッチコピー」を皆さまに検討していただくこととなります。こういう栃木中央地域を作っていきたい、栃木中央地域が 10 年後こんな風になって欲しい、そういったキャッチコピーを検討していただきたいと考えています。 それらを踏まえまして、2 月の地域会議で「地域未来ビジョン」の形になったものを皆さまにお示しさせていただき、3 月に庁内で栃木中央地域として設定した「地域未来ビジョン」を報告するという流れになります。 それでは、本日のワークショップですが、地域の魅力と課題の共有ということで、今までの地域会議の中で皆さまから様々な魅力と課題をいただいたところではありますが、改めて今現在、こういった課題があるのかという洗い出しと、栃木中央地域にはこんな魅力がある、こういう魅力はもっと活用していくべきだ、そういった前向きな意見もいただきながら、検討していきたいと考えています。
事務局	【ワークショップ】 地域の魅力と課題について、テーブルごとにまとめていただくことが本日の目標です。 意見の抽出として、皆さまが感じている魅力と課題を付箋に書き出してください。端的に、箇条書きでも構いません。付箋に書き出して頂いたものは、模造紙に貼り、似たような意見をまとめてグループ化をしていきます。
事務局	【テーブルごとに発表】 ハード・ソフト・魅力・課題の中央に分布するものが、歴史的な遺構、例幣使街道ですとか、地域資源だけれども十分に活かされていない、という意見です。 傾向としては、ハードの課題が多いです。内容的には、空き家や蔵の維持管理、駐車場不足が多く、意外に深刻だと感じたことは課題のソフトの部分で、栃木中央地域の特性として、中心部の過疎化・高齢化です。10 年後のまちづくりのビジョンを作るにあたり、ここは大きい課題として捉えていかなければならないと感じました。 商売人だけでなく、まちづくりを担う後継者も育てていかないといけない。後継者不足は商業だけでなく、まちづくりの部分、例えば、お祭りの継承や色々な伝統文化、スポーツ。サッカーチームは岩舟に拠点がありますが、栃木市のチーム、ソフトの資源として中心部としても活かしていく必要があるのではないかと意見がありました。 また、雑談の中でも、1 日に 2 件のお葬式に行ったというお話もあり、深刻な

事務局	課題であるという意見がありました。 ハード面の課題は大きく分けて2つあり、1つは危ない道路が多いという意見、もう1つは、まちなかの賑わいがもっと必要だという意見です。具体的には、図書館、特に複合型の人が交流できるような図書館がまちなかの中心部にあると人の流れが出来ていいのではないかと、また、それに併せて若者がスタートアップできるような、そういう施設が増えていくとより賑やかになっていくのではないかと意見が出ました。 ソフト面では、先のテーブルでも課題にあがったように、人口で、実際に自治会役員のなり手が居ない、育成会が動かなくなっているなど、実害が出てきています。 また、観光の面ではPR不足というのがずっとつながっています。特に、周遊バスですが、ダイヤやルートを変えたりすることで、観光の面でももっと有効に活用できるのではないかと意見がありました。 魅力は、太平山や歴史的な価値のある観光資源があることは1つの強みであるということ、ソフト面では、生涯学習が活発、市民活動が活発なのは栃木中央地域の特徴の1つであるということ。 ハード面では、産科がない（少ない）安心して出産ができないといところは、課題の1つであると。 観光の面では、月曜日が休みのお店が多い、そういったところも観光地としては課題の1つだという意見がありました。
事務局	本日の作業はここまでです。皆さまからいただいた意見を地域未来ビジョンへ反映させていただき、次回、課題から10年後の栃木中央地域が課題を解決した姿を思い描いたものを事務局から提案させていただくことを考えています。 それを基に、皆さまにキャッチコピーを、全体をまとめて一言で分かるような中央地域のキャッチコピーを考えていただくというのが次回の作業の予定です。 次回の会議が1月ですので、事前に資料をご提供し、色々なご意見を頂けるよう準備して参りますので、引き続きご協力をお願いいたします。 その他 次回の開催予定について 令和5年1月24日（火）午後6時30分～ キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 1階 大交流室

	事務局から 1 点ご案内をさせていただきます。 先程、会長からお話がありましたとおり、栃木中央地域の地域予算提案事業、例幣使街道に様々な看板を設置するという内容で、提出をさせていただきました。検討の最終段階で、具体的にどこに設置するかを皆さまと確認するという作業をさせていただきたいという話をいたしました。その作業を 11 月下旬頃、秋まつりが終わり落ち着いたところに、実施したいと考えています。こちらは、全員出席というわけではなく、希望される方に一緒に蔵の街大通りを歩いていただければと思っています。 その日程を平日の昼間に設定したいと考えていますが、皆さまのご意向、ご都合はいかがでしょうか。最終的に、事務局で日程調整を致しまして、皆さまに通知をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。
--	---

